

様式1

令和8年度 学校評価表

学校教育目標	心豊かに たくましく 自ら未来を拓く子供の育成									
a ミッション	小中連携の推進による主体性と学び力を育む教育の創造									
aビジョン 「学校が面白い」～「わかった・できた・つながった」を地域とともにつくる学校～										

尾道市立御調西小学校

評価計画						自己評価					学校関係者評価			改善計画	
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月末	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
「学校が面白い」～「わかった・できた・つながった」を地域とともにつくる学校	学力の定着	小中連携して取り組む基礎学力の確実な定着	○授業改善による学力の定着 ・学力調査の結果分析から小中で取り組む内容を決め全学級で実施する。	○国語・算数の単元末平均点 ・低学年92点以上 ・中学年90点以上 ・高学年90点以上	92点 90点 90点										
			○標準学力調査 ・全学年 全国平均＋5以上	100% (12/12)											
			○生活科・総合的な学習の時間を中心とした表現力の向上	○「友達や先生の前で自分の意見を伝えることに自信がある。」と答える児童の割合 肯定的評価80％以上（学期末）	80%										
	豊かな心と体の育成	自己有用感の向上	○学級や学校内で役割を持たせ、協働して活動する機会の設定。 ・1～3年 係活動等 ・4年 委員会活動等 ・5～6年 委員会クラブ活動、縦割りの活動、学校行事等 ○職員全体で、児童が当たり前に行っている行動を認め価値付ける（風土の醸成）。	○自分の活動がみんなの生活に役立っていると実感できる児童の割合 肯定的評価95％以上（学期末）	95%										
		健康的に生きていく力の育成	○体育の授業を中心に、単元に応じて個人の目標値と自分の成長を可視化できる機会を設定	○「目標に向かって取り組み、自分の目標を達成できた、成長を感じられた。」と答える児童の割合 肯定的評価95％以上（学期2回）	95%										
	信頼される学校	地域への愛着をもつ子どもの育成	○コミュニティ・スクールのよさを生かした教育活動の実施	○「地域と関わりながら、地域のことを学ぶことが好き。」と答える児童の割合 95％以上（学期末）	95%										
業務改善による働き方改革の推進		○業務分担の見直し・進捗調整と業務の手助け	○「私は、日々の業務の中で充実感を得られている。」と答える職員の割合 90％以上（働き方改革アンケート）	90%											

【取組評価】 A：100≦（目標達成） B：80≦（ほぼ達成）＜100 C：60≦（もう少し）＜80 D：（できていない）＜60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。
ロ：自己評価は適正でない。
ハ：わからない。